

熊本市立地適正化計画

- 施策集 -

熊本市

平成 28 年 4 月

目次

1	機能及び人口密度を維持・確保するための具体的な施策	1
1)	基本的な考え方	2
2)	施策展開のイメージ	3
2	都市機能及び人口密度を維持・確保するための施策	4
1)	現在の取り組みを継続する施策	4
2)	当面、新たに取り組む施策	5
3)	目標の達成状況により新たに検討する施策	7
4)	公共交通ネットワークの充実	8



1 都市機能及び人口密度を維持・確保するための具体的な施策

1) 基本的な考え方

本市の人口ビジョンにおける現在の趨勢で推移したパターンでは、今後 20 年間程は 70 万人台の規模で維持されますが、長期的にみると、平成 62 (2050) 年に約 64.2 万人と大きく減少すると予測されており、例えば人口が大きく減少しても暮らしやすい都市を維持するという目的を達成するため、多核連携都市の実現に向けて様々な施策を展開していきます。

本市が目指す多核連携都市の実現に向けては、第 2 次熊本市都市マスタープラン地域別構想に示す多核連携都市づくりに向けた基本的な考え方に市民懇話会でも意見の多かった地域コミュニティの維持活性化を加え、下記に示す 4 つの視点を軸に取り組んでいきます。

●都市機能誘導区域における都市機能の維持・確保

高次の都市機能が集積する中心市街地を市域及び都市圏全体の拠点とし、日常生活に必要なサービスが整う 15 の地域拠点を核として、都市機能の維持・確保を図ります。

●公共交通ネットワークの充実

熊本都市圏都市交通マスタープランや熊本地域公共交通網形成計画との整合を図りつつ、中心市街地と地域拠点を結ぶ基幹公共交通軸の強化、日常生活を支えるバス路線網の再編、コミュニティ交通の導入等に取り組めます。

●居住誘導区域における人口密度の維持

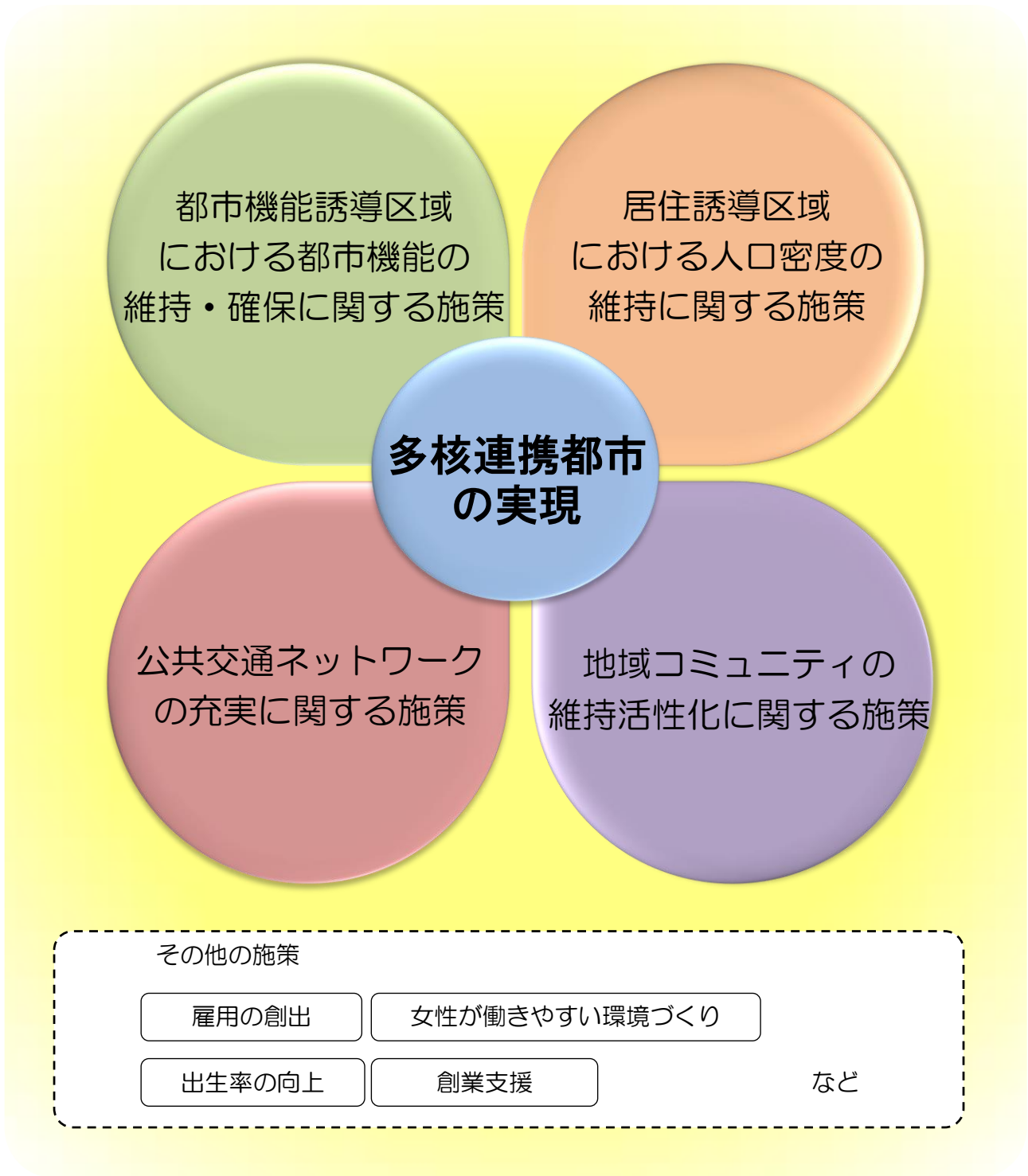
公共交通の利便性が高い地域の人口密度を維持するため、公共交通のサービス水準の更なる向上等に積極的に取り組むとともに、歩行空間や自転車走行空間、その他公共空地の整備に努め、居心地の良い空間を創出します。

●地域コミュニティの維持活性化

本市の魅力の一つである自然環境や農業・漁業生産環境の保全に努め、既存集落の維持を図ると共に、市域全体の地域コミュニティの維持活性化を図ります。

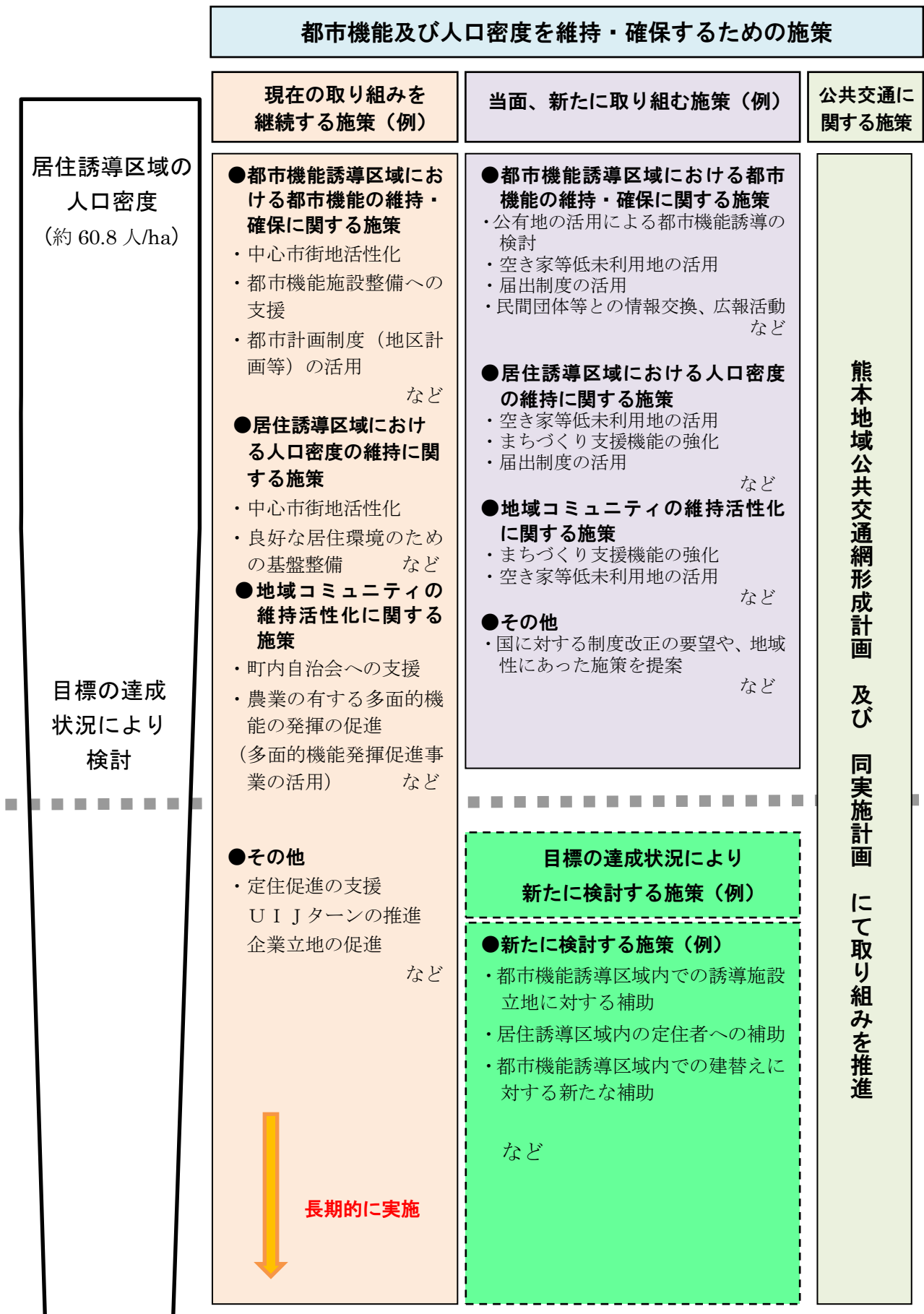
上記 4 つの視点を軸とした取り組みを進めることで、多核連携都市を実現し、本市の暮らしやすさや魅力を人口減少・超高齢社会においても維持し、持続可能な都市づくりを進めていきます。

本施策集については、目標値の達成状況等に応じて、新たな施策の盛り込みや既存施策の更新を「熊本市多核連携都市推進協議会」にて検討していきます。



▲施策の関連イメージ

2) 施策展開のイメージ



2 都市機能及び人口密度を維持・確保するための施策

本市が目指す多核連携都市の実現に向けては、都市、医療、社会福祉、教育文化、経済、環境、農業など幅広い分野が同じ将来像に向かって取り組む必要があります。そのため、「熊本市多核連携都市推進協議会」での関係者等の意見を踏まえつつ、庁内会議を設けて部局横断的な調整を図り、都市機能および人口密度を維持・確保するための施策を展開していきます。

施策展開については人口動向を考慮しながら、目標の達成状況に応じて以下の施策を検討します。

1) 現在の取り組みを継続する施策

●都市機能誘導区域における都市機能の維持・確保に関する施策

①中心市街地の活性化

- ・中心市街地活性化基本計画（熊本地区）に基づき、中心市街地における日常生活サービス機能及び高次都市機能を提供する施設を維持・確保します。

②都市機能の施設整備

- ・都市再構築戦略事業等の活用により、都市機能誘導区域内への日常生活サービス機能及び高次都市機能を提供する施設を維持・確保します。

③都市計画制度の活用

- ・地区計画等の活用により、都市機能誘導区域内への日常生活サービス機能を提供する施設維持・確保します。

●居住誘導区域における人口密度の維持に関する施策

①良好な居住空間の形成

- ・歩行環境や自転車走行環境の向上、並びに公共交通へのアクセス性の向上に資する道路整備等を進めます。
- ・公園や緑地といった公共空地・緑化空間が少ない地区については重点的にその整備に努め、幅広い世代にとって居心地の良い居住環境を創出します。
- ・居住誘導区域に位置し、良好な居住環境の形成や居住地選択に対して高い付加価値を生み出す水前寺江津湖公園などの整備に取り組みます。

②不良住宅等の解消

- ・良好な生活環境を確保するため、家屋等が管理不全な状態となることを防止し、管理不全な状態となった家屋等に対しては適正な管理が図られるよう努め、不良住宅等の解消により居住環境の向上を図ります。

③都市災害・自然災害への対策

- ・良好な居住環境の維持・確保に向け、公共空地の確保や内水害対策などの都市災害対策や、土砂災害、河川氾濫などの自然災害対策に取り組みます。

●地域コミュニティの維持活性化に関する施策

①地域コミュニティの維持・活性化

- ・町内自治会への支援により、地域コミュニティ維持を図ります。
- ・農業の有する多面的機能の発揮を促進し、地域コミュニティの維持を図ります。（多面的機能発揮促進事業）

●その他

①定住促進の支援

- ・U I J ターン希望者のための相談窓口を設置するなど、市域への移住を支援するとともに、企業誘致や雇用の促進など、本市への定住促進を図る施策に取り組めます。
- ・熊本市のプロモーション活動により交流人口の増加を図るとともに、地域コミュニティの活性化又は移住促進を図ります。

②広域道路交通ネットワークの形成

- ・都市機能誘導区域へのアクセス性向上や、広域的な道路ネットワークの利便性向上により、地域の多様な交流を促進するため、広域道路交通ネットワークの形成に取り組めます。

③自転車利用環境の向上

- ・都市機能誘導区域内の日常生活サービス機能を提供する施設の利用促進に資する駐輪場整備や、良好な居住環境の形成に資する歩行者と自転車が共存する交通環境の整備に取り組めます。

2) 当面、新たに取り組む施策

●都市機能誘導区域における都市機能の維持・確保に関する施策

①公有地活用の検討

- ・都市機能誘導区域内にある公有地については、その土地を活用した日常生活サービス機能及び高次都市機能を提供する施設の維持・確保について検討します。

②容積率緩和の検討

- ・都市機能誘導区域に立地する誘導施設については、必要に応じて、新設・建替えの際に特定用途誘導地区を活用するなど、容積率緩和の可能性を検討します。

③補助採択基準の見直し

- ・高齢者福祉施設、子育て支援施設等が都市機能誘導区域内に立地する場合の補助採択基準に、立地適正化計画（以下、本計画）に配慮した加点項目を検討します。

④空き家等低未利用地の活用検討

- ・空き地、空き家などの低未利用地を活用した日常生活サービス機能の立地の可能性を検討します。

⑤届出制度の活用

- ・都市機能誘導区域外に立地する誘導施設については、都市再生特別措置法第108条に基づき届出が必要となることから、届出を活用した都市機能誘導区域内への立地促進を図ります。

⑥公共施設の立地促進

- ・公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の再編等にあたっては、公共施設の用途に応じて、施設の都市機能誘導区域及び居住誘導区域内への立地を念頭に検討を行います。

⑦民間団体等との連携

- ・都市機能誘導区域内に誘導施設を維持・確保するため、事業者・行政・不動産業界・市民との連携ネットワークの強化を検討します。

⑧情報提供の充実

- ・細かな地域区分による人口密度や年齢構成割合等の情報提供を検討します。

●居住誘導区域における人口密度の維持に関する施策

①届出制度の活用

- ・居住誘導区域外に一定規模以上の住宅を建築する際については、都市再生特別措置法第88条に基づき届出が必要となることから、届出を活用した居住誘導区域内への立地促進を図ります。

②税制面の措置

- ・平成27年度の税制改正において、「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく必要な措置の勧告の対象となった特定空き家等に係る土地については、住宅用地に係る固定資産税・都市計画税の特例の対象外となることから、特定空き家等に係る必要な措置について検討します。

③市営住宅の維持更新

- ・市営住宅の維持更新にあたっては、居住誘導区域内で重点的に取り組むとともに、生活支援施設の併設等の機能向上について検討します。

④民間団体等との連携

- ・居住誘導区域内の人口密度を維持するため、不動産業界、住宅業界等との連携を図り、空き家等の解消に向けた連携ネットワークの強化を検討します。

⑤空き家等低未利用地を活用した居住促進の検討

- ・空き地、空き家などの低未利用地を活用した居住の促進の可能性を検討します。また、空き家については、除却や跡地活用による住環境の向上についても検討します。

●地域コミュニティの維持活性化に関する施策

①まちづくり支援機能の強化

- ・まちづくり支援機能を強化するための拠点として、(仮称)まちづくりセンターを設置し、本庁及び区役所内の各課との連携について検討します。
- ・(仮称)まちづくりセンターに地域担当職員を配置し、地域の相談窓口、地域情報収集・行政情報発信、地域コミュニティ活動の支援などの役割を担い、地域の課題解決について検討します。

●その他

①国への提案、要望

- ・都市再構築戦略事業等において、居住誘導区域内で居住促進に特に資する公園整備や道路整備等については、都市機能誘導区域外であっても基幹事業として取り扱うよう要望を行います。
- ・その他制度改正の要望や、地域の特性にあった施策の提案を行います。

3) 目標の達成状況により新たに検討する施策

●都市機能誘導区域における都市機能の維持・確保に関する施策(例)

①整備費用等に対する支援

- ・都市機能誘導区域内に誘導施設を移転・新設する場合、都市機能立地支援事業等の活用により、建物整備費等の一部支援について検討します。支援にあたっては、拠点ごとの誘導施設を対象とします
- ・都市機能誘導区域内で誘導施設が合築・複合化する場合、都市機能立地支援事業の活用により、建物整備費の一部支援について検討します。支援にあたっては、拠点ごとの誘導施設を対象とします

●居住誘導区域における人口密度の維持に関する施策(例)

①定住に対する支援

- ・居住誘導区域内の人口密度が大きく減少した場合は、居住誘導区域内への定住を促進するための支援制度を検討します。

②既存制度の見直し

- ・居住誘導区域内の人口密度が大きく減少した場合は、集落内開発制度の指定区域見直しや、開発許可基準の見直しを検討します。

4) 公共交通ネットワークの充実に関する施策

本市が目指す多核連携都市の実現に向けて、まちづくりと地域公共交通の再編は、相互に連携を図りながら取り組む必要があります。本計画は熊本地域公共交通網形成計画及び同実施計画と密接に関係しており、これらの計画における様々な事業の展開により好循環を生み出し、人口減少・超高齢社会に適応可能な都市づくりを進めていきます。熊本地域公共交通網形成計画における施策の展開方針等については以下のとおりで、本計画との連携を図ります。

【熊本地域公共交通網形成計画抜粋（策定中）】

基本的な方針

- (1) 目指す都市の将来像
「公共交通を基軸とした多核連携都市くまもと」
- (2) 公共交通が果たすべき役割
役割Ⅰ：日常生活に必要な移動を支えること
役割Ⅱ：多核連携都市の実現に貢献すること
役割Ⅲ：まちの賑わい創出・環境改善に貢献すること
- (3) 目指す公共交通の将来像
「誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通」
- (4) 公共交通の活性化及び再生に向けた取組みの方向性
方向性1：コンパクトシティ+ネットワークのまちづくり
方向性2：広域都市圏を見据えた公共交通ネットワークの形成
方向性3：地域社会全体で支え合う公共交通

目標達成のための施策・事業

- (1) 施策の展開方針
 - ①基幹公共交通の機能強化
中心市街地と15箇所の地域拠点をつなぐ8方面の基幹公共交通軸を機能強化
 - ②バス路線網の再編
基幹公共交通の補完・ネットワーク形成を担うバス路線網を再編・効率化
 - ③コミュニティ交通の導入等
公共交通空白地域等への対応、地域の実情等に応じたコミュニティ交通の導入検討
- (2) 主な施策
 - ①ゾーンシステムの導入
8方面の基幹公共交通軸上に乗換拠点を設定し、乗換拠点における公共交通の幹線・支線化と多様な交通手段の結節を図るゾーンシステムの導入を目指す。
 - ②乗換拠点の整備
ゾーンシステム乗換拠点や地域拠点・鉄道駅の乗換拠点において、交通手段間や公共交通と自転車、自家用車等の交通結節機能の強化を図るとともに、乗換が生じる場合の乗換抵抗の低減を図るために待合環境等の乗換機能の向上を図る。

③バスロケーションシステムの導入

路線バスの現在位置を各バス停やスマートフォンで確認できる「バスロケーションシステム」の導入を目指す。

④都市バスを中心としたバス路線網の効率化

熊本都市バスを中心とした各民間交通事業者の協力体制のもと、都市バスが運行データ等に基づき作成した運行計画書（案）をベースとして、熊本市が各事業者と個別調整を行い、一元的・効率的な利便性の高いバスサービスの提供を目指す。

⑤コミュニティ交通の導入

公共交通基本条例に基づき、公共交通空白地域等への日常生活の移動を支えるコミュニティ交通の導入・維持を行うほか、地域の特性や実情に応じたコミュニティ交通の検討・導入を行う。

⑥公共交通の利用促進

公共交通の利用促進や利用者の担い手としての意識醸成に向けて、出前講座や利用促進キャンペーン等に継続して取り組むほか、モビリティマネジメント等の利用促進策についての検討を行う。

など



熊本市立地適正化計画

- 施策集 -

平成 28 年 4 月

熊本市 都市建設局 都市政策部 都市政策課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町 1 番 1 号
TEL (096) 328-2502 FAX (096) 351-2182
